

原水爆禁止 2019 年世界大会へのメッセージ

核兵器廃絶を求め、毎年原水爆禁止世界大会を実施されている皆様に深く敬意を表します。

今年は戦後 74 年となりますが、戦争を知らない世代が多くなっている中、私たちは、唯一の被爆国の国民として、戦争によって引き起こされた悲惨な出来事を風化させず、絶え間なく後世に伝えていくことが使命であると考えます。

南足柄市においては、昭和 60 年に市議会において「核兵器廃絶平和都市宣言」を決議しました。決議以降、毎年「平和を願う折鶴事業」として当市の小中学校の児童生徒をはじめ、多くの市民の願いを込めた千羽鶴を広島と長崎に送り、また「平和映画会」を開催するなどして、戦争の悲惨さと平和の尊さを訴え続けています。

今後も継続的な平和事業の展開により、次の時代を担う子供たちや、多くの市民に対し平和意識の高揚を図り、核兵器の無い平和な世界の実現に向けて努力してまいります。

最後になりますが、原水爆禁止 2019 年世界大会のご成功とご参加の皆様方のますますのご健勝を心からご祈念申し上げ、メッセージといたします。

令和元年 7 月 8 日

南足柄市長 加藤 修平